



「居住と持続可能な開発」テーマに

# 劣悪な居住環境と急激な開発で

北京五輪村の緑エネルギーの節約技術応用  
に対する議論

## エネルギー節約型居住地開発

中国都市建設投資集団 刘松涛

再生エネルギー利用の側面  
において、再生水源熱ポンプ  
システムと太陽エネルギー生  
活温水システムを採用しまし  
た。北京五輪村で採用した一  
連の先進的なエネルギー節  
約技術があることは運動選手た  
ちに提供され、競技が終わつ  
た後には高級住宅地区として  
使われます。

具体的な景観の配置の側面  
から見る時、主に南北緑化軸  
が森林公園と共に自然を  
模倣して降臨風土・騒音減少、  
土壤保存に努め、緑化率は  
40%に達します。同時に屋上  
庭園と立体緑化があります。

種の選択の側面においては生  
物防除技術を利用して病虫害  
を防除して、水を多く必要と  
しない種を植えました。

北京オリンピック（五輪）  
村は、緑のエネルギー節約住  
宅の代表的なケースとしてエ  
ネルギー節約と環境保護の理  
念を様々な方面にわたって応  
用しました。オリンピック村  
の緑のエネルギー技術の応用  
状況を紹介する次の通り。

北京五輪村は、五輪公園の  
西北に位置し、占有面積は27  
haがあり、容積率は1.5。

5.5haでは北は國家森林公園に  
隣接、総建築面積は52万m<sup>2</sup>で、  
そのうち地下は10万m<sup>2</sup>、地上  
は42万m<sup>2</sup>です。1868軒の  
住宅があり、容積率は1.5。

2つのセットの生態汚染水  
面積で、地上面積80m<sup>2</sup>地下  
面積110m<sup>2</sup>に過ぎません。

毎日200人以上の景観水を処理  
することができ、1年に7・  
2万トの自然水を節約する。

リブランの住まいづくり  
リブラン常務取締役渡辺弘  
1・エコミックデザイン  
2・暮らし方提案  
3・より良い人間関係の構  
築をめざして  
4・NPOのカーテン応  
援団の活動として

エネルギー節約型住宅開発  
1、持続可能な開発とエネ  
ルギー、そして住宅  
2、パッシブ住宅実現事例  
①提川（チエヨン）住宅  
里（トフアリ）のパッシブ住  
宅（②龍市（ヨンインシ）  
東柄洞（トシベクトン）のツ  
インハウス（双子住宅）、③  
忠北（チュンブク）新月洞  
パッシブ住宅

新刊 日本居住福祉学会会長 早川和男著  
『災害と育む』

新刊 日本居住福祉学会会長 早川和男著  
『災害と育む』

日本は戦後、住宅の大量生産を  
官民挙げて推進し、毎年10万戸  
戸から180万戸の住宅を建設  
し、廃墟から復興してきました。  
その建設の功は個人又は民間不  
動産業に拠るもので、例えば19  
94年度の建築種別着床面積は  
民間主体2億1514万3000  
m<sup>2</sup>(90.2%)、公共主体234  
4万4000m<sup>2</sup>(9.8%)でした。  
それから2つ、「エネルギー節  
約型住宅建設」は中国960  
万平方kmの都市と村に広く分  
布するでしょう。

（本文抜粋、一部省略）

約型住宅建設は中国960  
万平方kmの都市と村に広く分  
布するでしょう。

（本文抜粋、一部省略）

（本文抜粋、一部省略）